

2019.8.1



南郷小学校(左上)、蓮沼小学校(右上)、日向小学校(左下)、山武北小学校(右下)3年生の皆さん

今月の
表紙

ようこそ! 初めての議場へ!

- 6月定例会 審議結果一覧 p2~3
- 常任委員会審査報告 p4
- 一般質問 p5~13
- 行政視察報告、全国市議会議長会表彰等 p14~16



山武市マスコットキャラクター
SUNムシくん

6月定例会

元号が令和となり、初めての定例会が、6月4日から25日まで、22日間の会期で開かれました。
市長から、諮問1件、議案14件、報告3件の提出があり、それぞれ原案のとおり同意・可決されました。
今回提出された請願2件は採択され、また、議員から提出された発議案2件は、原案のとおり可決されました。

<議案等の審議結果一覧>

元号が令和となり、初めての定例会が、6月4日から25日まで、22日間の会期で開けられました。 市長から、諮問1件、議案14件、報告3件の提出があり、それぞれ原案のとおり同意・可決されました。 今回提出された請願2件は採択され、また、議員から提出された発議案2件は、原案のとおり可決されました。			会派等	新 政 会				さん む 21	公 明 党	市 政 会	日本共産党	さん む わ	れ い わ									
諮問第1号	適任と認める	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するため、議会の意見を求めるもの 石井 晴夫 氏（蓮沼二）	議員名	大塚重忠	小川善郎	加藤忠勝	大川義男	北倉弘康	櫻田基介	戸村勝敏	高知尾正義	萩原善和	能勢秋吉	石川和久	市川陽子	長谷部竜作	深沢誠	齋藤昌秀	玉置美津恵	並木幹男	八角公二	小川一馬
適任と認める																						
議案第1号	同意	山武市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて 教育長が任期満了となることから、その任命にあたり議会の同意を求めるもの（再任） 嘉瀬 尚男 氏（埴谷）	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × × ○ × ×																			
議案第2号	同意	山武市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 教育委員会委員が任期満了となることから、その任命にあたり議会の同意を求めるもの（再任） 今関 百合 氏（松ヶ谷イ）	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × ○																			
議案第3号	可決	山武市空家等の適正管理に関する条例の制定について 「空家等対策の推進に関する特別措置法」に定めるもののほか、空家等の適正な管理について必要な事項を定め、管理不全な状態の空家等の発生やそれに起因する犯罪、事故等を未然に防止し、市民の安全で安心な生活の確保と良好な生活環境の保全を図ることを目的として、条例を制定するもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 欠 ○ ○ ○ ○																			
議案第4号	可決	山武市税条例の一部を改正する条例の制定について 県税条例施行規則の一部を改正する規則の制定に伴い、軽自動車税の環境性能割の課税の特例を新たに規定するため、条例の一部を改正するもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 欠 ○ ○ ○ ○																			
議案第5号	可決	山武市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 地方税法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額の引き上げや国民健康保険税の減額の対象となる所得基準の引き上げを行うため、条例の一部を改正するもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第6号	可決	山武市航空機離着陸特例分配金基金条例の一部を改正する条例の制定について 昨年の3月13日に合意した「成田国際空港の更なる機能強化に関する確認書」に基づく、A滑走路の夜間飛行制限緩和が本年10月から開始されることに伴い、制限緩和開始からC滑走路供用開始までの間に、成田国際空港(株)から交付されるA滑走路特別加算金を、現在の航空機離着陸特例分配金と合わせて、騒音対策や地域振興の財源とするため、条例の一部を改正するもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第7号	可決	山武市保育所条例の一部を改正する条例の制定について 少子化等の影響により、今後も入所希望者の増加が見込めないことから、現在休止している豊岡保育所を廃止するため、本条例の一部を改正するもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第8号	可決	山武市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 本年10月からの消費税率引き上げに合わせ、低所得者の保険料の軽減等を行うため、条例の一部を改正するもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第9号	可決	山武市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について 少子化等の影響により、今後も入園希望者の増加が見込めないことから、現在休園している蓮沼幼稚園、むつみのおか幼稚園を廃止するため、条例の一部を改正するもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第10号	可決	山武市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正により、選挙長、投票管理者、開票管理者等の費用額が見直されたことに伴い、条例の一部を改正するもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第11号	可決	まつおこども園移転改修工事請負契約の締結について まつおこども園移転改修工事請負契約について、地方自治法等の規定により、議会の議決を求めるもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第12号	可決	財産の取得について 老朽化した消防ポンプ自動車を更新するにあたり、地方自治法等の規定により、議会の議決を求めるもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第13号	可決	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について 本年8月31日をもって、香取市東庄町病院組合が解散されることに伴い、県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約を制定することについて、関係地方公共団体と協議するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			
議案第14号	可決	令和元年度山武市一般会計補正予算（第2号） 既定の歳入歳出予算額に、6,109万6千円を追加し、歳入歳出予算総額を、231億1,683万6千円にするもの	○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																			

○＝賛成、×＝反対、欠＝欠席 ※大川義男（議長）は採決に加わりません。



<議案等の審議結果一覧>

		会派等	新 政 会					さん む 21		公 明 党		市 政 会		日本共産党		さん む わ		れ い わ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			議員名	大塚重忠	小川善郎	加藤忠勝	大川義弘	北田基守	櫻田勝敏	戸村勝敏	高知尾正義	萩原善和	能勢秋吉	石川和久	市川陽子	長谷部竜作	深沢誠		齋藤昌秀	玉置美津恵	並木幹男	八角公二	小川一馬																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
報告第1号	報告	平成30年度山武市一般会計継続費繰越計算書について																報 告 の み (採 決 な し)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
報告第2号	報告	平成30年度山武市一般会計繰越明許費繰越計算書について																報 告 の み (採 決 な し)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
報告第3号	報告	平成30年度山武市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について																報 告 の み (採 決 な し)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
請願第1号	採択	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書																○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ = 賛成、× = 反対 ※大川義弘（議長）は採決に加わりません。

可決した意見書について

請願第1号、第2号について、文教厚生常任委員会で審査を行い、最終日の本会議において、委員長の報告のとおり全会一致で採択されました。

なお、この請願の採択に伴い、同委員長から意見書が発議され、全会一致で可決されたため、下記のとおり国へ意見書を提出しました。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書（抜粋）

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかにかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものである。

国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める。

国における令和2年度教育予算拡充に関する意見書（抜粋）

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っている。

そこで、以下の項目を中心に、令和2年度にむけての予算の充実をしていただきたい。

- ・震災からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること
- ・少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
- ・保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること
- ・現在の経済状況を鑑み、就学援助や奨学金事業に関わる予算をさらに拡充すること
- ・子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること
- ・危険校舎、老朽校舎の改築や更衣室、洋式トイレ設置等の公立学校施設整備費を充実すること
- ・子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税交付金を増額すること など

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望する。

【提出先】 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

各常任委員会審査報告

市議会には、総務・文教厚生・経済建設の3つの常任委員会が設置されています。常任委員会では、本会議で審査を付託された議案等について、専門的に審査を行い、採決した結果を本会議に報告します。

総務常任委員会

(6月17日開催)

議案第4号、議案第5号、議案第6号、議案第10号、議案第12号、議案第13号、議案第14号の一部 (原案可決)

*委員会質疑要約

空調機器設置事業の概要

問 航空機騒音対策空調機器設置事業の、概要について伺います。

答 この事業は、本年10月からA滑走路の発着時間が、夜間1時間延長されることに伴い、航空機騒音に影響のある地域の方々の負担軽減策として実施するもので、対象地域は、旧松尾町、旧蓮沼村、旧成東町の原横地地区、木戸岡地区、木戸浜地区の一部です。

補助の内容は、1台あたり、空調機器本体を含む、設置工事費の90%以内、上限を8万円とします。

申請については、対象者本人が事前に市へ申請し、世帯人数等に合わせて決定された設置台数に応じて、空調機器の購入や設置工事を実施した後、実績報告書等に、購入代金等のわかる領収書を添付し、市へ提出します。職員により設置状況を確認した後、補助金をお支払いする予定です。



総務常任委員会の様子

文教厚生常任委員会

(6月18日開催)

議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第11号、議案第14号の一部 (原案可決)

請願第1号、請願第2号 (採択)

*委員会質疑要約

未婚の児童扶養手当給付金

問 未婚の児童扶養手当受給者臨時・特別給付金の対象世帯数を伺います。

答 現在の対象世帯は、33世帯です。これから、出産予定の方が6人いるため、併せて39世帯となります。

日向幼稚園の園児数

問 日向幼稚園の園児の増員に伴い、補正予算が計上されていますが、現在の園児数について伺います。

答 入園児数については、当初、66人を見込んでいましたが、4月1日現在で、103人となったことから、園児に係る消耗品等の費用を計上しました。

通学バスの運行

問 通学バス運行管理業務委託料について、運行するバスの台数と、一日の便数に

ついて伺います。

答 マイクロバス2台を運行します。最大の運行で、朝2便、帰り3便の、合計5便です。



文教厚生常任委員会の様子

経済建設常任委員会

(6月19日開催)

議案第3号、議案第14号の一部 (原案可決)

*委員会質疑要約

空き家バンクの運用状況

問 本年4月1日から、空き家バンクを開設していますが、運用状況について伺います。



経済建設常任委員会の様子

答 空き家の利用希望者からは、何件か問合せをいただいています。また、登録希望者からは相談があり、手続き等の説明を行った方もいましたが、現在、登録には至っていません。

広報紙やホームページで周知を行っています。登録された空き家がなければ、空き家バンクを運用することができません。今後は、実態調査で把握した、活用可能な空き家等の所有者へ個別に通知を行い、登録していただけるよう努めていきます。

市政を問う！

一般質問（代表・個人）とは、議員が、市の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を市長などに求め、市が適切な市政運営を進めているか、チェックするものです。

質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域の住民生活に密接している事項など、多岐にわたります。

山武市議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができます。

議会だよりは、質問した議員が自ら原稿を作成し、それを掲載しています。

今回の第2回定例会の会議録（9月上旬発行予定）は、図書館またはインターネットでご覧いただけます。

また、録画中継をインターネット（スマートフォン、タブレットでも可）でご覧いただけます。



山武市インターネット議会中継

6月定例会

一般質問



p6

個人質問
新政会
さくらだ
櫻田
もとすけ
基介

- ①海岸地域の活性化について
- ②築山の整備について

p7

個人質問
さんむ21
のせ
能勢
あきよし
秋吉

- ①一般行政について
- ②土木行政について
- ③医療行政について

p8

個人質問
さんむ21
いしかわ
石川
かずひさ
和久

- ①財政運営について
- ②市有地の活用について

p9

個人質問
公明党
いちかわ
市川
ようこ
陽子

- ①行政施策について
- ②駅周辺について
- ③成東駅前観光交流センターについて

p10

個人質問
公明党
はせべりゅうさく
長谷部竜作

- ①交通安全対策について
- ②公共交通について

p11

個人質問
公明党
ふかざわ
深沢
まこと
誠

- ①有害鳥獣対策について
- ②教育施策について

p12

個人質問
市政会
さいとう
齋藤
まさひで
昌秀

- ①市の公園について
- ②一般行政について
- ③観光行政について
- ④防災について
- ⑤情報化について

p13

個人質問
日本共産党
なみき
並木
みきお
幹男

- ①公共交通について
- ②鳥獣被害対策について
- ③子育て支援策について

※一般質問の項目については、「一般質問通告書」の内容を記載しています。

海岸地域の活性化について

問 ブルーフラッグの取得による海岸地域の活性化について、市長の考えを伺います。

答 市長 私たちの宝である九十九里海岸を、次世代に伝えることが最大の目的です。世界のビーチ共通の、安心安全の印が掲げられることを喜ばしく思います。地域の人々や、観光・海水浴場関係者と連携し、美しい海水浴場を維持して行きたいと考えます。

問 本須賀海岸への来場者数について伺います。

答 経済環境部長 平成29年度は4万3816人、30年度は4万3486人です。

問 駐車場の駐車台数及び利用率について伺います。また、利用率は平日と土・日曜日で差はあるか伺います。

答 経済環境部長 総台数はバス



新国会 櫻田基介 議員

4台、普通車742台です。利用率は、海水浴場開設期間中で、平日のバスは13・4%、普通車は19・7%です。土・日曜日は、バス18・8%、普通車66・3%です。

問 年間の総駐車台数と利用料金の設定、料金の収入額、維持管理料について伺います。

答 経済環境部長 平成29年度は1万2650台、収入額は506万4900円、30年度は1万2091台、収入額485万1800円です。料金は大型が1000円、中型が700円、普通車が500円、二輪が100円で、市内の方は無料です。維持管理費は、料金徴収と駐車場内の警備委託料で、29年度404万7840円、30年度431万9460円です。

問 近隣市町の、海水浴場の駐車場の状況について伺います。

答 経済環境部長 駐車台数は、九十九里町、3万6835台、大網白里市、2万2265台、横芝光町、1079台です。料金体系は市と同じです。

問 認証取得記念として、試験的に市外の方も無料にしてはどうですか。

答 経済環境部長 海岸を維持するには、清掃や駐車場の整備、ライフセーバー等の確保で、年間約6千万円の経費が必要です。ブルーフラッグは環境面や安心とサービスの審査基準も

あり、安全確保が必要なため、ご理解をお願いします。

問 今年のゴールデンウィークに本須賀海岸に行った際、沢山の人で賑わっていました。海の家もないため、キッチンカーなどの移動販売で、地域を活性化させてはと思いますが、どうですか。

答 経済環境部長 本須賀海岸には海岸法等が適用されており、海岸を利用する公衆の行事に用いる簡易な施設等で、一時的な使用であれば、市及び県へ申請することで設置は可能と考えます。ただし、キッチンカーや販売等の、単体での出店等はできません。



ブルーフラッグが掲げられた本須賀海岸

問 ブルーフラッグでの、環境教育の今後の取り組みについて伺います。

答 経済環境部長 7月6、7日に、環境教育セミナーを開催する予定です。6日は、ブルーフラッグや環境教育の関係性について、座学での勉強会を開催します。7日は、海岸でのビーチクリーン活動、植物や動物の生態系を学ぶ講座を予定しています。

問 先般、犬吠埼沖で、貨物船同士の衝突事故が起き、燃料の重油が流出したとニュースで聞きました。市の海岸への影響はありますか。

答 経済環境部長 事故の翌日、また、27日に担当課と現地を確認した結果、市近郊の海岸に影響は有りませんでした。

築山の整備について

問 築山の概要について伺います。

答 総務部長 井之内地区は周囲に高台がないため、一時的に避難できる施設整備の要望が地区からありました。海岸から約800mで、30分以内に徒歩で避難が可能な土地、約1haを購入し、海抜10mの盛り土を行います。山頂には、非常用トイレや備蓄倉庫を整備し、津波災害に備えます。

問 現在の状況及び工事開始の時期について伺います。

答 総務部長 昨年の12月に用地の買収が終了しました。令和2年度末の完成に間に合うように、工事発注を予定しています。

問 築山の完成後の維持管理について伺います。

答 総務部長 地域の方々に関わっていただくことが大切だと考えます。草刈り等の管理は、地元自治会等と協議を進めていく予定です。



議員 吉秋勢 21 さんむ

一般行政について

問 市長が掲げる地域再生まちづくりの展望8項目について、総合計画でどのように取り組むのか伺います。

答 市長 総合計画では、8つの宣言をもとに、17の重点分野を設定しています。次世代に誇れる市の実現に向けて、皆さんとともに、まちづくりを進めていきたいと考えています。

問 重点分野に位置づけられている、成田空港周辺地域としての基盤整備について伺います。

答 総務部長 成田国際空港周辺対策交付金を活用して、松尾、蓮沼地区の成田空港へのアクセス道路整備や水路整備を行い、生活道路機能の充実と安全性、利便性の向上を図ります。

問 企業立地と企業定着による雇用の促進は非常に大事なことです。今後の取り組みについて伺います。

答 総務部長 現在は県や金融機

関等との情報交換を進めており、今後は民間ディベロッパー（開発業者）等の活用を主体として、企業誘致を検討していきたいと考えています。

問 転入者、定住者増を図る政策について伺います。

答 総務部長 結婚をきっかけに、一度市外に住みながらも、住宅の購入や家族との同居を機に市に戻る方等を逃さず、また増やす取り組みが必要であると考え、進めているところです。



問 成東中学校と成東東中学校の統廃合について、総合教育会議での進捗状況について伺います。

答 教育部長 昨年度に2回総合教育会議を行い、小中学校の規模適正化・適正配置について協議をし、成東中学校と成東東中学校は、ともに今後、生徒数の減少が見込まれるため、統合という方向性で一致しました。現在は、次の会議に向け、成東中学校、成東東中学校の統合に関しての諸課題について協議をするための準備を行っています。

問 地域の方たちとの話し合いの場、例えば地区ごとに説明会を開いて、方向性をきっちり決めるべきだと思いますが、どうですか。

答 市長 地域の方々の意見を聞く必要があると考えています。ただ、開催については多くの方にご参加いただいたため、少し工夫をしたいと考えています。

問 成東・東金食虫植物群落の環境整備の進捗状況について伺います。

答 教育部長 柵の設置に向け、未整備範囲の調査、仕様の検証、費用積算等を行い、準備しています。

問 サンプスギを利用した地域ゆかりの文化人の活用について伺います。

答 市長 サンプスギの文化や偉人を市の魅力発信等に活用して、サンプスギを利用したパネルを展示することも1つの方法であると考えています。

土木行政について

問 成東駅南口線の進捗状況について伺います。

答 都市整備課長 県によると、用地買収面積の約7割が買収済みとのこと。国道から変則十字路までの約100mについては、今年度供用予定と聞いていますが、全体の完成年度については、用地取得のめどが立った時点で、お示しできるとのことです。

問 津辺地先の交差点改良の進捗状況について伺います。

答 都市整備課長 国道と県道成東鳴浜線の交差点改良は、用地買収に

ついて地元の協力が得られないため、南口線の供用開始と合わせることは困難と聞いています。

問 1日も早い交差点改良をお願いしたいが、どうですか。

答 市長 事あるごとに県とも話しており、市でできることは協力し、一緒に進めていきたいと思っています。

医療行政について

問 さんむ医療センターの建設場所について伺います。

答 保健福祉部長 移転先は、なるとうこども園南側を予定しています。

問 ベッド数を199床で予定している根拠について伺います。

答 保健福祉部長 機能強化型在宅療養支援病院の指定取得を予定しており、200床未満であることが要件の一つです。指定を受けることにより概算で5千万円程度の加算が見込めます。

問 病院建設の補助金は、どの位を見込んでいますか。

答 保健福祉部長 県の地域中核医療機関整備促進事業補助金を、要綱に基づき算出すると、約5億円弱が見込めます。

問 病院の建替については、当初示された予算規模で収めますか。

答 市長 現在はそのように進めています。

個人質問

財政運営について

問 今年度予算が、合併以降、最大の予算規模となった要因について伺います。

答 総務部長 令和元年度の一般会計当初予算額の増加は、閉校後の豊岡小学校を改修する、まっおこども園移転整備事業に4億3千万円、さんぶの森中央会館及び敷地内施設を改修する、さんぶの森中央会館等施設改修事業に1億9千万円、さんぶの森文化ホールのつり天井の耐震化を行う、さんぶの森文化ホール非構造部材耐震等改修事業に2億円、農村環境改善センターの多目的ホールのつり天井の耐震化などを行う、環境改善センター施設改修事業に2億3千万円など、大規模事業の実施の予定が重なったことが、最大の要因と考えています。

問 令和2年度の予算額の見込み



議員 石川和久 さんむ21

について伺います。

答 総務部長 令和2年度は、松尾小学校の校舎の改築を行う松尾小学校新校舎整備事業で11億円、閉校後の山武南中学校を改修する日向・山武西統合小学校校舎等改修事業で4億円、松尾IT保健福祉センターの屋上鉄骨部を改修する松尾IT保健福祉センター施設等改修事業で2億2千万円等の予算を見込んでいます。

来年度予算については、これらの要因により、今年度よりも、さらに予算額が増額となる予定です。

問 今後の施設関係の大規模事業の予定について伺います。

答 財政課長 今年度、市公共施設等総合管理計画が対象とする、市内の各公共施設の実情等を踏まえて、維持管理・更新等の実施方法や時期などを定める、市公共施設個別施設計画の策定を予定しています。

計画の中で、各公共施設の修繕及び改修等にかかる経費の見込みについても、明らかにする予定です。

問 長期財政計画が示されましたが、見直し時期のタイミングについて伺います。

答 財政課長 法改正等による大幅な制度改正や、多額の出費を伴う大規模事業の実施計画が示されたときなど、後年度の財政状況に大きく影響を

与える事象が発生した場合において、計画の見直しが必要になるものと考えています。

問 今後の財政状況の見直しについて、市長の考えを伺います。

答 市長 将来的に、市税や普通交付税の減額が想定されることから、今後は、歳出を抑えていきたいと考えています。

問 適正な予算規模とするために、具体的にどのような方法と対策を考えているのか伺います。

答 市長 費用対効果の低い事業の見直しについてはもちろんですが、市公共施設個別施設計画の策定において、市内公共施設の統廃合も含めた、効率的な活用方法について検討し、歳出の抑制に努めていきたいと考えています。

施設の有効活用について

問 豊岡保育所の今後の活用方法について伺います。

答 保健福祉部長 現在の利用状況から、今後、保健福祉部から総務部へ所管替えの手続を行い、防災用倉庫もしくは消防用倉庫として、今後も活用する方向です。

問 蓮沼幼稚園とむつみのおか幼稚園の活用方法について伺います。

答 保健福祉部長 蓮沼幼稚園に

現在保管してある文書等は移動する予定であり、今後も市として建物の有効活用が見込めないため、売却等の処分を考えています。

むつみのおか幼稚園については、民間事業者から、地域の子育て世帯が利用できる子育て支援センター等、親子の遊び場、保護者の相談場所として活用したい旨の提案がありました。今後、民間事業者と有効活用について、調整していききたいと考えています。

◀旧むつみのおか幼稚園



▲旧豊岡保育所

◀旧蓮沼幼稚園





公明党 市川陽子 議員

行政施策について

問 第2次総合計画は、市長の施政方針と一体性を成し、4年間の任期と連動しています。基本事業の目指す姿の中で、現状値及びめざそう値が、横ばいにならないか伺います。

答 総務部長 重点分野については、政策的に成果と向上を目指し、重点的な予算確保や既存事業の見直し、新たな事業展開を図るため、高い水準で設定しています。通常事業は、選択と集中の観点から、法令及び安全面からの対応等を除き、現在の事業内容に維持向上を図る水準で、目標値にしています。

問 平成28年5月、SDGs推進本部が立ち上がり、民間企業や各自治体でも、その理念や施策を取り入れる動きが始まっています。また、学校教育でも、新学習指導要領に、維持可能な社会のつくり手の育成が明記され、

積極的に推進することになりました。まずは、理念と推進の必要性を多くの人が理解し、それぞれの分野で協力し、目標達成に向けて進んでいく必要があると思います。どうですか。

答 市長 地方創生を目指すなか、少子高齢化の歯止めには、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、地方が将来にわたり安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりが考えられます。今後は、国や他の自治体の動向も参考にし、取り組んでいきます。

※SDGs：持続可能な世界を実現するための国際目標。17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

防災・減災の対策について

問 防災行政無線が聞きづらいついという市民の意見を把握していますか。

答 総務部長 把握しています。機材の耐用年数から、年間230台の戸別受信機の修理・更新が必要となっており、その数は年々増加しています。

問 市は60MHzですが、日光市は280MHzの電波を使用した、防災行政無線システムを使用しています。端末で信号を音声に変えており、音声が入り組んだ地域もカバーでき、市内全域で電波を拾うことができます。防災

行政無線システム更新に向けて、具体的な検討をしているか伺います。

答 総務部長 適切な情報を適時に市民に伝達することが、市民の命を守る上で非常に重要であり、行政の重大な責務であると理解しています。防災行政無線システムの更新と選考に当たっては、確実性、将来を見据えた運用コスト、拡張性、利便性等を比較検討し、判断していきます。

駅周辺について

問 松尾駅周辺整備の進捗状況について伺います。

答 都市建設部長 平成30年度から令和4年度までの、5カ年間計画で進めています。本年3月に、松尾駅前交差点部分から国道126号線までの県道部分にボックスカルバートを設置する工事、約300mを発注しており、今年度は市営駐車場地下へ貯留槽を設置する工事と、影響を受ける駐車場の移設工事の発注を予定しています。

問 停止線や横断道路の白線が消えており、事故につながる心配があります。各駅周辺の白線の対応について伺います。

答 都市建設部長 松尾駅前には、交差点部分の横断歩道の引き直しも含め、附帯工事で実施予定です。成東駅南口線工事区間は、工事の中で対応

と県から聞いています。日向駅周辺は、山武土木事務所へ現状の報告をします。

問 松尾駅構内も、通勤・通学での送迎時に利用していますが、白線が消えて大変危険な状態です。対応について伺います。

答 都市建設部長 松尾駅前交差点部分の横断歩道の引き直しと合わせて実施する予定です。

※ボックスカルバート：下水や雨水を流すための箱型のコンクリート製管路

成東駅前観光交流センターについて

問 観光の観点から、今後の役割をどのように考えているのか伺います。

答 経済環境部長 NPO法人である市観光協会が、交流センターを拠点に、窓口案内とホームページ等で観光情報の発信を行っています。また、観光客の市内観光施設の移動手段として、観光用レンタサイクル事業を実施しています。今後、ニーズを把握し、にぎわいの創出につながるよう、実現に向け検討します。



レンタサイクル用の電動アシスト付自転車

交通安全対策について

問 高齢者ドライバーによる事故や、子どもが被害者となる悲惨な交通事故が多発しています。市民の安全のために、歩道整備の推進や公共交通を充実させ、運転免許証の自主返納を進めるべきと考えますが、どうですか。

答 市長 高齢者を事故の加害者にしないため、また、高齢運転者を持つ家族の心配を解消するためにも、自主返納の推進は必要であり、そのための公共交通拡充と利用促進が必要であると考えます。また、交通安全確保に向けた道路環境整備も進めて行きます。

問 市道沖渡横田線、大木地先から沖渡地先の歩道整備計画について伺います。

答 都市建設部長 歩道整備の計画はありませんが、同一路線を部分的に管理している八街市、富里市と合同

で、状況の把握・共有化を図り、除草や路面標示などに対応していきます。

問 県道117号日向停車場極楽寺線、日向駅付近から踏切付近への歩道整備について伺います。

答 都市建設部長 県での整備計画は現在ありませんが、除草や踏切前後の路面標示などの安全対策を実施していくと聞いています。

問 県道76号成東酒々井線、大木地先から椎崎交差点の歩道整備について伺います。

答 都市建設部長 県に確認したところ、継続的に実施していますが、現状、草や木々等により通行に支障がある箇所があるため、強く要望していきます。

問 市内には、安全確保のために、改良が必要と思われる交差点が複数箇所ありますが、整備状況について伺います。

答 都市建設部長 国・県道の交差点整備は、工事要望を県に継続的に行っています。また、市道については、路線全体の整備として実施しています。

問 横断歩道等の道路標示が消えている箇所が多くなっています。市民の情報提供等も活用し、早急に対応していただきたいが、どうですか。

答 都市建設部長 横断歩道や停止線など、規制にかかわるものは、県

公安委員会へ引き直しの要望を行っています。また、市の道路パトロールだけでは発見が遅れる場合もあるため、情報提供をいただけるよう周知し、早急な改善に向けて努めます。

公共交通について

問 乗合タクシーについて、荷物の積み降ろしを手伝ってほしいとの声を高齢者から聞きますが、対応について伺います。

答 総務部長 利用者登録の際に、運転手は安全な運行に専念しなければならぬため、荷物の積みおろしは、各自でお願いしますと説明しています。その上で、現場の判断に任せることが適当ではないかと考えています。

問 乗合タクシーの敷地内への乗り入れについて伺います。

答 総務部長 私有地を運行する際の事故や器物破損等、責任上、難しい部分があると考えています。

問 乗合タクシーによる、運行地域を超えた医療機関への乗り入れを検討してはと考えますが、どうですか。

答 総務部長 運行地域外の医療機関への乗り入れについては、検討していく必要があると考えています。

問 基幹バスについて、停留所の一部に、車道と歩道を隔てる縁石があります。降雨時等の乗降車の際に、

足をかけると滑りやすく危険です。撤去について伺います。

答 総務部長 乗降口を縁石のない場所に合わせるようにするなど、運行事業者と、運用面での対応を検討していきます。

問 非常に狭い道路に停留所が設置されているため、車が自分のすぐそばを通り、大変怖いという声があります。安全確保の手だてをお願いしたいと思いますが、どうですか。

答 総務部長 十分な待機場所を確保できない停留所もあるため、一般車両への注意喚起として、バス停への反射シールの張りつけなどを検討していきます。



さんバス



あいのりくん



有害鳥獣対策について

問 本市が所有するわなの種類と保有数、そして、平成29、30年度の鳥獣の種類ごとの捕獲数を伺います。

答 経済環境部長 市が保有する台数は、くくり罠113個、大型の箱罠26個、小型の箱罠30個です。

捕獲数は平成29年度、アライグマ30頭、ハクビシン31頭、タヌキ17頭、イノシシについては、くくり罠32頭、大型の箱罠8頭の、合計40頭です。

30年度は、アライグマ50頭、ハクビシン15頭、タヌキ25頭、イノシシについては、くくり罠34頭、大型の箱罠8頭の、合計42頭です。

問 市における電気柵の設置状況について伺います。

答 経済環境部長 現在のところ、把握できていない状況です。

問 地域がまとまって申請しな

ければならない、電気柵資材購入費相当分の定額助成について、個人でも申請できるようにしてはどうですか。

答 経済環境部長 地域で取り組んでいくことが重要と考えますが、有効性を確認した上で、今後検討していければと思います。

問 鳥獣被害対策実施隊の設置について、見解を伺います。

答 市長 市鳥獣被害防止計画の中に、設置について検討するとしているため、専門家からの情報収集をしながら、関係機関や団体へ、設置に向けた調整を図っていくこととしています。



箱罠で捕獲されたイノシシ

教育施策について

問 区域外就学の規定について伺います。

答 教育部長 区域外就学につい

ては、市立小学校及び中学校就学区域に関する規則に基づき、保護者から、やむを得ない特別な理由により区域外就学申請書が提出された場合、承諾基準に照らし合わせた上で総合的に勘案し、就学指定変更を行っています。

問 区域外就学が認められる理由が就学途中で消滅した場合、制服やジャージを買い直す、経済的負担についての対策を伺います。

答 教育部長 新たな負担がかかることのないように、前籍校で使用していたものを使ってもよいということになっていきますので、買い直しのための経済的な補助はしていません。

問 区域外就学の理由が消滅してしまう理由もまた、さまざまです。子どもたちの心に寄り添う教育的配慮が必要だと思いますが、教育長の考えを伺います。

答 教育長 さまざまな理由から、その申請理由が解消・消滅した場合については、承諾基準を総合的に勘案しながら、丁寧な対応をしていきたいと考えています。

問 子ども議会開催への取り組みについて伺います。

答 市長 市内の各学校の状況などを勘案しながら、開催に向け、教育委員会に依頼しており、開催の形式を含め、現在調整を進めているところです。

問 公営塾について、概要を伺います。

答 教育部長 教育委員会で行っている公営塾は、生徒が主体的、探究的に学ぶ場所を提供することにより、地域活性化を図ることを目的として、平成28年度から開始しています。現在は市内在住、在学の小中学生及び高校生が自由に利用できる自習室を常設し、派遣講師による学習支援を週2回行っています。

保健福祉部では、要保護、準要保護家庭での貧困の連鎖を絶つべく、中学生に対する支援として、高校進学を目的とした学習支援を行っています。昨年度は、のぎくプラザ、山武中学校、松尾公民館の3会場で、各15回ずつの学習教室を開催し、基礎学力として、主要教科の数学、英語等の学力向上や、学習習慣の定着を図りました。



松尾公民館内の公営塾

個人質問

市の公園について

問 緑海保育所跡地の活用について伺います。市の公園の数からすると、緑海地区などが少ないですが、平成25年3月31日に閉鎖された、緑海保育所の跡地などを公園として利用することは可能ですか。

答 総務部長 緑海保育所の跡地は、閉園後、一部は津波避難道路の道路用地及び津波避難道路整備にご協力いただいた地権者の方々への代替地として、売買、土地の交換等を行っています。残りの1772㎡については、津波避難道路整備に伴う資材置き場用地として活用し、その利用が昨年3月をもって完了したため、現在は財政課において管理しています。

跡地の利用方法については、地元地区等の要望があれば、使用貸借契約を締結して、貸し出すことも可能です。



市議会 齋藤昌秀 議員



緑海保育所跡地

観光行政について

問 ブルーフラッグ認証が取得できたことは大変喜ばしいことです。これは、市長をはじめ、多くの職員、関係者の方々の努力の結晶です。県で第1号取得ということは、本市しか名乗れないことで、大きな地域PRとなり、観光客の増加が見込まれると思います。が、どのような受け入れ態勢を整えていますか。

答 経済環境部長 まず、本須賀海岸へ誘導できるように、国道、県道等の電柱等を利用して、30カ所に看板の設置を予定しています。また、先般、県の土木事務所へ依頼し、県道成東鳴浜線の除草が実施される予定です。

本須賀海水浴場に、海水浴場開設期間中に掲げることができるイヤーフラ

ッグ等を、今、話題になっているインスタ映えるように設置を進めて、市のPRにつながるようにしていきたいと考えています。



ブルーフラッグ認証取得記念イベントの様子

防災について

問 津波の際の避難場所である築山について、具体的な整備スケジュール及び用地買収は全て完了しているという認識でよいでしょうか。

答 総務部長 今後のスケジュールについては、現在、工事発注に向けた実施設計業務を委託しています。委託業者からの提案を受けて、経済性、工法及び工事期間の検討を行い、令和2年度末の工事完成を目指して、本体工事の発注を行うこととしています。

また、用地買収については、昨年の12月に全て完了しています。

情報化について

問 2020年度から、インター

ネット環境が4Gから5Gへと、徐々に変わっていきます。通信速度は現行の4Gの100倍になり、通信速度の遅延に対しては、1mm秒程度の遅延になると言われています。自動運転が実用化レベルとなり、手術の遠隔指示などにも活用されています。

この様なネットワーク環境の変化に伴い、市では企業誘致や起業、企業支援について検討しているか伺います。

答 総務部長 通信環境の変革を見越した企業誘致について、具体的な情報も少なく、誘致活動には着手をしていないという状況です。

現在は、企業誘致全般では、県や金融機関等との情報交換を進めており、今後は、民間デベロッパー（開発業者）等の活用を主体とした企業誘致を検討していきたいと考えています。

また、最近の情報ですが、アメリカのグーグル社が印西市に日本初のデータセンターを建設するとの発表がありました。県内では、地域活性化やIT技術の誘致が進むのではとの期待が高まっている状況ですので、そちらの動向を注視していきたいと考えています。

※5G：第5世代移動通信システム。4Gを発展させた「超高速」だけでなく、「多数接続」、「超低遅延」といった、新たな機能を持つ次世代の移動通信システム。



公共交通について

問 基幹バスの具体的な改善要望としては、運行頻度の増加、定時性の確保、鉄道との乗り継ぎ性の改善が挙げられています。これらの要望を実現していくためには、ルートの改善やバスの増便も考えていく必要があるのではないのでしょうか。その考えについて伺います。

答 総務部長 具体的な改善要望として挙げられた運行頻度の増加、定時性の確保、鉄道との乗り継ぎ性の改善については、市地域公共交通網形成計画において、利用者ニーズに対応した基幹バスの見直し事業として、検討を実施します。

これらの要望に対応するためには、運行ルートの改善や、バスの増便などが必要になると考えられますが、十分な利用者ニーズや利用実態を把握し、

必要となる経費や財源など、総合的な分析が必要となると考えています。

問 乗合タクシーについて、地域ごとのタクシーの台数の状況によっても違いがありますが、予約がとれない場合の対策をどのようにしていくのか。利用者の増加が見込まれる場合には、今後、タクシーの台数を増やしていく考えはあるのか。また、地域外への運行要望も多くありますが、その対応について伺います。

答 総務部長 はじめに、予約がとりにくい場合の対策については、これまでの乗合タクシーの稼働状況から地域別に、曜日別・時間帯別の混雑状況を示す表などを作成し、市の広報紙やホームページ、乗合タクシーの車内や公共施設などでの情報提供を考えています。

次に、タクシーの台数を増やすことについては、午前8時台から午後5時台の中では、比較的予約がとりやすい時間帯もありますので、当面は運用面での対応を考えていきます。

最後に、地域外運行については、現在、市役所本庁舎とさんむ医療センターのみを対象として実施しています。課題としては、地域外運行により、運行距離が増大することから、一日の運行回数が減少すること、予約がとりにくくなること、また運行経費の増加か

ら、運賃の値上げについても、検証が必要となることが考えられます。



鳥獣被害対策について

問 イノシシ被害対策として、個体数を減らす対策は行ってきました。鳥獣被害防止計画の中に、防護柵の設置、その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項があり、侵入防止柵の整備計画は、被害報告がされた場合には、検討することとなっていますが、これまで具体化はされていません。現在、これだけイノシシ被害が多くなってきたことから、電気柵や防護柵について、地域でまとまっているところでは、早急に設置を行っていく必要があるのではないのでしょうか。個人では、補助金等が出ない

ということですが、例えば、農家が3軒、4軒という形でまとまって申し込んだ場合には、市独自の補助制度も考えていくべきではないのでしょうか。その対応について伺います。

答 経済環境部長 現在、市としては、被害拡大を防ぐために、捕獲を重点的に進めているところです。また、県が推進している事業の中で、地域ぐるみの事業にはなりますが、地域で徹底駆除を目標に行う捕獲や、防護柵への取り組みを支援する「獣害に負けない農村集落づくり事業」があります。補助金の内容は、定額、一地区50万円の中で、防護柵や電気柵も設置できる事業もありますので、今後は、専門家を講師として招いた研修会の開催や、農家への周知を強化していきます。

イノシシ被害対策については、今まで質問をいただいた中で、思うような成果があがらず、なかなか決め手もなく、猟友会の全面的な協力の中、何とかしなければいけないと思っています。今後は、もう一步踏み込んだ取り組みにつなげるよう、努力していきます。



捕獲されたイノシシ

個人質問

議会運営委員会行政視察レポート



7月8日から10日にかけて、議会運営委員会の行政視察を行いました。

◆ 滋賀県米原市 テーマ「議会基本条例の検証と評価・子ども議会について」

米原市議会では、平成25年11月に制定した議会基本条例に基づいた取り組みについて、9回の議会運営委員会における協議、2回の議員研修において検証シート等を作成し、各項目についての達成度や課題等を評価していました。全議員で検証を行い、共通認識として評価すべき点、課題点を整理していました。また、今後も議会改革を進めるため、平成29年から4年間の実施計画を策定し、計画的に取り組んでいます。

子ども議会については、米原市制施行10周年事業として、議員が中心となって平成27年に開催しました。市内の小学校から推薦された20名が参加し、子どもたちとの意見交換の場を設けていました。今後の本市の取り組みに参考となる事業でした。



米原市での研修の様子

◆ 福井県高浜町 テーマ「ブルーフラッグ認証について」

高浜町では、平成28年にビーチの国際環境認証ブルーフラッグを日本(アジア)で初めて取得しました。水質、環境マネジメント、環境教育、安全とサービスについての基準を達成することが条件となります。

認証を取得した若狭和田ビーチでは、ビーチウッドデッキの設置等バリアフリーを行っていました。天候にも左右されますが、認証取得後、海水浴客増加にもつながっているそうです。環境教育として、水に関する研修、砂浜のプラスチックゴミ拾い等全9回を開催し、また、子どもたち向けの絵本を自作で作成したり、2歳までの子どもを対象としたファーストビーチプロジェクトを計画したり、100年後も素晴らしい海を残すための取り組みを行っていました。

本市でも、本年4月にブルーフラッグ認証を取得しており、参考となると同時に、今後、連携して取り組んでいければと感じました。



日本で初めてブルーフラッグ認証を取得した高浜町若狭和田ビーチ

◆ 京都府南丹市 テーマ「地域あんしん情報について」

南丹市では、市ホームページ内に「南丹市地域あんしん情報」サイトを開設しています。このサイトは、災害情報などの重要な情報を集約し、災害時などに簡単に閲覧できるサイトです。スマートフォンにも対応しており、市民の皆さんから、危険箇所などの情報を提供していただける機能も備えています。

南丹市では公共電波が弱いため、それを補完するWi-Fi整備を積極的に進めていました。平成25年の台風18号の豪雨で甚大な被害を受けたことから、市内5カ所に河川監視カメラを設置し、ホームページで常時公開しています。災害時の対策等に有効であると感じました。

この行政視察で、各市町の特色ある事例について研修して得た知見を、今後の市政等に活かしていきたいと思います。



南丹市役所にて

第55回山武都市議会議員研修会

7月12日、成東文化会館のぎくプラザで、山武都市議会議員研修会が開催されました。

当日は、自治功労者の表彰の後、麗澤大学経済社会総合研究センター客員研究員、松野豊先生から、「議員から仕掛けるシティプロモーションとマーケティング」という演題でご講演をいただきました。



松野豊先生の講演の様子



研修会の様子

山武市議会ってどんなところ？

～市議会の仕組みや働きについてお知らせします～

市議会の主なルール

◆定足数の原則

市議会を開くには、議員定数の半数以上の議員の出席が必要です。
この原則は、委員会においても同じです。

◆議会公開の原則

本会議は、原則として公開されます。

◆過半数議決の原則

市議会での議事は、原則として出席議員の過半数の賛成が必要です。
この原則は、委員会においても同じです。

◆会期不継続の原則

議会は会期ごとに独立して活動しています。会期中に議決できなかった議案は、次の議会には持ち越せません。

例外として、委員会で結論が出ず、本会議において継続審査をすることが決定した場合には、閉会中も委員会において議案審査を行うことができます。

◆一時不再議の原則

本会議で議決された議案などの案件は、同じ会期中に再び提出することはできません。
この原則は、委員会においても同じです。



議会を傍聴しませんか？

本会議、常任委員会は一般に公開されており、住所・氏名・年齢を記入するだけの簡単な手続きで傍聴できます。市議会活動に触れる最も身近な方法です。ぜひ、議場にお越しください。

詳しくは議会事務局まで 電話 0475(80)1235



スマホ・タブレットからも議会が見られます！



議場にお越しいただくことが難しい場合は、市のホームページから、
議会の本会議の様子をご覧いただけます。
発言者や会派などで検索することもできます。



山武市議会

検索

全国市議会議長会表彰



行木三郎前議員



(左)小川善郎議員 (右)八角公二議員

6月11日に東京国際フォーラムを会場に開催された、第95回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として20年以上(町村議員の勤続年数は2分の1として計算)在職し功労があったとして、小川善郎議員、行木三郎前議員が、また、10年以上在職し功労があったとして、八角公二議員が表彰されました。

議会広報研究会 ～より読みやすい議会だより～

7月5日、県内市町村議会を対象とした、議会広報研究会が開催されました。議会だより編集委員が参加し、効果ある議会だよりの編集について学びました。

皆さんに議会のことを少しでもわかりやすく、身近に感じてもらえるよう、これからの紙面づくりに活かしていきます。



政務活動費の領収書等をホームページで公開しています

市議会では、議員が市政に関する調査研究等に資するために必要な経費の一部を、条例に定めるところにより、政務活動費として会派に交付しています。

政務活動費のさらなる透明性の確保、また、情報公開を進めるため、平成30年度分の政務活動費収支報告書、支出伝票(領収書添付)の写しをホームページで公表しました。

小学生の議場体験(表紙)

本年度は、大平小学校、蓮沼小学校、南郷小学校、日向小学校、睦岡小学校、鳴浜小学校、山武北小学校の皆さんが議場の見学に訪れました。また、鳴浜小学校の皆さんには、当日開催されていた本会議も傍聴していただきました。初めて入る議場はどうだったでしょうか。またぜひ見学に来てください。



委員 齋藤 昌秀
委員 玉置美津恵
委員 深沢 誠
委員 北田 守
副委員長 櫻田 基介
委員長 長谷部 竜作

議会だより編集委員会
次回は11月1日(金)発行予定です。

今回は、令和元年6月に行われた第2回定例会について編集しました。
議会だより編集委員会では、より読みやすい議会だよりづくりに取り組んでいます。
皆さんのご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

編集後記

※日程は変更になることがあります。

9/26(木)	閉会
9/19(木)	経済建設常任委員会
9/18(水)	文教厚生常任委員会
9/17(火)	総務常任委員会
9/13(金)	委員会付託等
9/12(木)	議案質疑、一般質問
9/11(水)	一般質問
9/10(火)	一般質問
9/4(水)	開会

令和元年 第3回定例会